

次期福島県医療計画の全体構成（案）

議題(1)参考

総論	第1章 計画策定にあたっての基本方針	第1節 計画策定の趣旨
		第2節 計画の位置づけ
		第3節 第7次計画の評価
		第4節 基本理念
		第5節 計画期間
		第6節 計画の推進体制と役割
		第7節 計画の評価及び見直し
	第2章 医療提供体制等の現状	第1節 人口構造
		第2節 人口動態
		第3節 県民の受療状況
		第4節 医療提供施設の状況
各論	第3章 医療圏と基準病床数	第1節 医療圏の設定
		第2節 基準病床数
	第4章 地域医療構想	第1節 地域医療構想について
	第5章 外来医療の体制	第1節 外来医療計画について
	第6章 東日本大震災・原子力災害からの復興・再生	第1節 被災地の医療提供体制の再構築
	第7章 医療を支える人材の確保	第1節 医師
		第2節 歯科医師
		第3節 薬剤師
		第4節 保健師・助産師・看護師・准看護師
		第5節 その他の保健医療従事者
	第8章 5疾病・6事業及び在宅医療の体制	第1節 がん対策
		第2節 脳卒中対策
		第3節 心筋梗塞等の心血管疾患対策
		第4節 糖尿病対策
		第5節 精神疾患対策
		第6節 救急医療
		第7節 災害時医療
		第8節 新興感染症発生・まん延時における医療
		第9節 過疎・中山間地域の医療（へき地医療）
		第10節 周産期医療
		第11節 小児医療
		第12節 在宅医療
	第9章 その他主要な分野の医療体制	第1節 呼吸器疾患対策
		第2節 感染症対策
		第3節 難病対策
		第4節 アレルギー疾患対策
		第5節 歯科保健医療対策
		第6節 認知症対策
		第7節 移植医療
		第8節 リハビリテーション
		第9節 高齢化に伴い増加する疾患等対策
		第10節 薬物乱用防止対策
	第10章 <u>医療機関相互の連携、医療DXの推進</u> <u>（医療機関相互の連携、情報化の推進）</u>	第1節 地域医療の機能分化と連携
		第2節 <u>医療DXの推進</u> （医療に関する情報化の推進）
	第11章 医療の安全の確保	第1節 医療安全対策
		第2節 医薬品等安全対策
		第3節 血液確保対策
地域編	第12章 圏域別の取組	第1節 県北医療圏
		第2節 県中医療圏
		第3節 県南医療圏
		第4節 会津・南会津医療圏
		第5節 相双医療圏
		第6節 いわき医療圏

議題（1）次期福島県医療計画等について

◆ 次期福島県医療計画の
基本的内容について（総論）

総論

第3章 医療圏と基準病床数①

第2節 基準病床数

【基準病床数制度】
○医療計画において基準病床数を定めることとなっている。
○基準病床数は各都道府県において現時点で必要とされる病床数であり、必要病床数は地域医療構想において医療需要の変化に応じた将来（2025年）における病床の必要量になる。
○病床の整備について、病床過剰地域（既存病床数が基準病床数を超える地域）から非過剰地域へ誘導することを通じて、病床の地域的偏在を是正し、全国的に一定水準以上の医療を確保することを目的としている。
○基準病床数は全国統一の算定式により算定し、病床過剰地域では、病院開設・増床を許可しないことができる。

1 療養病床及び一般病床

- 二次医療圏ごとに医療法施行規則第30条の30第1号に規定する算定式に基づいて算定する。
- 療養病床と一般病床のそれぞれについて基準となる病床数を算定した上で、その合計を療養病床及び一般病床の基準病床数とする。（一般病床、療養病床としては設定しない。）
- 入院患者の流入流出数については、その数値を除いて算定した県全体の合計数を超えない範囲で、加減調整する。
- 震災からの復興を見据えて基準病床数を設定するため、震災の影響が大きい相双地域からの患者流出について調整を行う。

2 精神病床、結核病床及び感染症病床

- 精神病床に係る基準病床数は、都道府県の区域ごとに医療法施行規則第30条の30第2号に規定する算定式に基づいて算定する。
- 結核病床に係る基準病床数は、都道府県の区域ごとに医療法施行規則第30条の30第3号に規定する算定式に基づいて算定する。
- 感染症病床に係る基準病床数は、都道府県の区域ごとに医療法施行規則第30条の30第4号に規定する算定式に基づいて算定する。

3 算定式

- 各病床の算定式は次ページ以降のとおり。

第2節 基準病床数

(1) 療養病床

$$\left\{ \left[\text{人口} \text{ ①} \times \text{療養病床入院受療率} \text{ ②} \right] - \text{介護施設、在宅医療等対応可能数} \text{ ③} + \text{流入入院患者数} \text{ ⑦} - \text{流出入院患者数} \text{ ⑧} \right\} \div \text{病床利用率} \text{ ⑥}$$

(2) 一般病床

$$\left\{ \left[\text{人口} \text{ ①} \times \text{一般病床退院率} \text{ ④} \right] \times \text{平均在院日数} \text{ ⑤} + \text{流入入院患者数} \text{ ⑦} - \text{流出入院患者数} \text{ ⑧} \right\} \div \text{病床利用率} \text{ ⑥}$$

内容
①当該区域の性別及び年齢階級別(5歳階級別)人口
②全国平均の性別及び年齢階級別の療養病床入院受療率
③介護施設及び在宅医療等で対応可能な数 ※令和11年度末における「慢性期入院患者のうち医療区分Ⅰの患者数の70%」+「慢性期入院患者のうち入院受療率の地域差を解消していくことで在宅医療等の医療需要として推計する患者数」
④当該区域の性別及び年齢階級別(5歳階級別)一般病床退院率
⑤平均在院日数
⑥病床利用率
⑦当該区域への他区域からの流入入院患者数の範囲内で知事が定める数
⑧当該区域から他区域への流出入院患者数の範囲内で都道府県知事が定める数

※ 次回、福島県医療審議会 保健医療計画調査部会において報告

第2節 基準病床数

(3)精神病床の基準病床数 = (ア + イ + ウ + エ + オ - カ) ÷ キ

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{ア} \\ \text{年齢別急性期入院患者数} \text{ ①} + \text{イ} \\ \text{年齢別回復期入院患者数} \text{ ②} + \left[\text{ウ} \right. \\ \text{年齢別慢性期入院患者数} \text{ ③} \times \left. \left\{ 1 - \begin{array}{l} \text{慢性期入院患者} \\ \text{の政策効果割合} \end{array} \text{ ④} \right\} \right] + \\ \left[\begin{array}{l} \text{認知症慢性期} \\ \text{入院患者数} \end{array} \text{ ⑤} \times \left\{ 1 - \begin{array}{l} \text{認知症慢性期入院} \\ \text{患者の政策効果割合} \end{array} \text{ ⑥} \right\} \right] + \begin{array}{l} \text{オ} \\ \text{県外からの流入} \\ \text{入院患者数} \end{array} - \begin{array}{l} \text{カ} \\ \text{県外への流出} \\ \text{入院患者数} \end{array} \end{array} \right\} \div \begin{array}{l} \text{キ} \\ \text{精神病床} \\ \text{利用率} \end{array} \text{ ⑦}$$

内容
①令和8年における県の年齢別の急性期(入院期間が3月未満)の推計入院患者数の総和
②令和8年における県の年齢別の回復期(入院期間が3月以上1年未満)の推計入院患者数の総和
③令和8年における県の年齢別の慢性期(入院期間が1年以上かつ認知症以外)の推計入院患者数の総和
④慢性期入院患者に係る政策効果に関する割合
⑤令和8年における県の年齢別の認知症慢性期(入院期間が1年以上かつ認知症)の推計入院患者数の総和
⑥認知症慢性期入院患者に係る政策効果に関する割合
⑦精神病床利用率

※ 福島県精神保健福祉審議会（令和5年9月7日開催）において検討

第2節 基準病床数

(4)結核病床の基準病床数 = ア × イ × ウ × エ + オ

ア		イ		ウ		エ		オ
入院した患者数	×	アの退院までに要する平均日数	×	年間新規患者数の区分別係数	×	都道府県の実情に照らした係数	+	慢性排菌患者のうち入院している患者数
①		②		③		④		⑤

項 容
①1日当たりの当該都道府県の区域内における感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（以下、「法」という。）第19条及び第20条の規定に基づき入院した結核患者数
②ア（法第19条及び第20条の規定に基づき入院した結核患者）の退院までに要する平均日数
③次に掲げる当該区域における法第12条第1項の規定による医師の届出のあった年間新規患者（確定例）発生数の区 分に応じ、それぞれに定める数値 ①99人以下：1.8 ②100人以上499人以下：1.5 ③500人以上：1.2
④1（粟粒結核、結核性髄膜炎等の重症結核、季節変動、結核以外の患者の混入その他当該都道府県の区域の実情 に照らして1を超え1. 5以下の範囲内で都道府県知事が特に定めた場合にあつては、当該数値）
⑤当該都道府県の区域内における慢性排菌患者（2年以上登録されており、かつ、1年以内に受けた検査の結果、菌陽 性であった肺結核患者に限る。）のうち入院している者の数

※ ①、②、③、⑤の値は、医療計画に基準病床数を定めようとする日の属する年度の前の年度の数を用いる。

※ 結核対策推進協議会（日程調整中）において検討予定

第2節 基準病床数

(5)感染症病床の基準病床数 = ア + イ

ア：第一種感染症指定医療機関病床数（都道府県の区域ごとに原則1か所）

イ：第二種感染症指定医療機関病床数（二次医療圏毎に原則1か所）

※ 福島県感染症対策連携協議会（日程調整中）において検討予定

第1節 外来医療計画について

【参 考】福島県医療審議会 保健医療計画調査部会（令和5年5月30日開催）
資料4-1 次期福島県医療計画の基本的事項（案）について
○ 「外来医療計画」については、医療計画の一部ではあるが、医療計画と計画期間が異なるため、別冊として取り扱うものとする。

【参 考】福島県医療審議会 保健医療計画調査部会（令和5年8月10日開催）
資料5 次期福島県外来医療計画の基本的事項（案）について
○ 名称
「福島県外来医療計画（令和6年〇月）」（仮称）とする。
○ 計画の位置づけ
医療法第30条の4第2項第10号の規定に基づく、医療計画における「外来医療に係る医療提供体制の確保に関する事項」を定めたもの。
○ 計画期間
令和6年度（2024年度）から令和8年度（2026年度）までの3年間とし、令和6年度以降、3年ごとに見直しを行う。
○ 計画に記載する主な項目
1 基本的事項、2 外来医療の状況等、3 医療機器の効率的な活用、4 進行管理
○ 策定スケジュール

【資料5で説明】